一般コンクリート製品

ロングU/エプロン

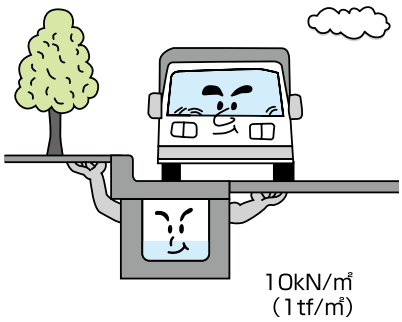
T-25対応　グレーチング蓋　コンクリート蓋

特　　徴

国土交通省近畿地方整備局「コンクリート二次製品市場製品図集」及び兵庫県「小型構造物標準図集」に準拠

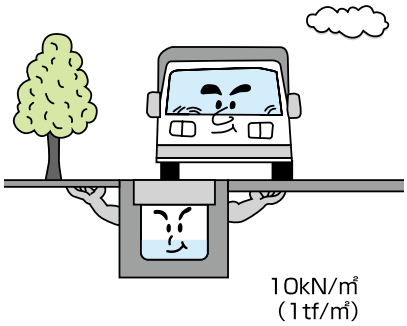
ロングUはT－25直載の蓋掛けなしタイプ(PU1型)、蓋掛けありタイプ(PU2型)と過載荷重なし(PU5型)の3種類があります。

〈PU1型 T-25用〉



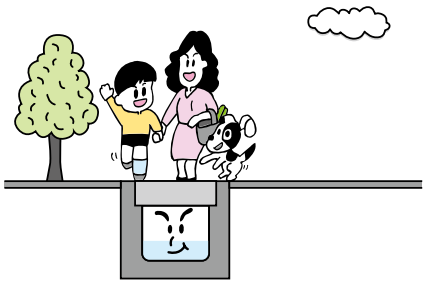
●エプロンとの併用も可能です。
●「コンクリート二次製品構造規格(案)近畿版設計基準に準拠し、車両総重量25トン、後輪荷重100kN(10tf)に 耐える構造です。
●土圧を求める際の土の単位体積重量は、締め固めた路盤材料であるため、20kN/㎥(2.0tf/㎥)としています。

〈PU2型 T-25用〉



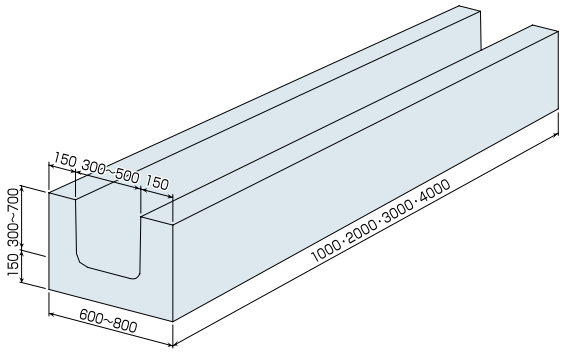
●「コンクリート二次製品構造規格(案)近畿版設計基準に準拠し、車両総重量25トン、後輪荷重100kN(10tf)に 耐える構造です。
●土圧を求める際の土の単位体積重量は、締め固めた路盤材料であるため、20kN/㎥(2.0tf/㎥)としています。

〈PU5型 過載荷重なし〉

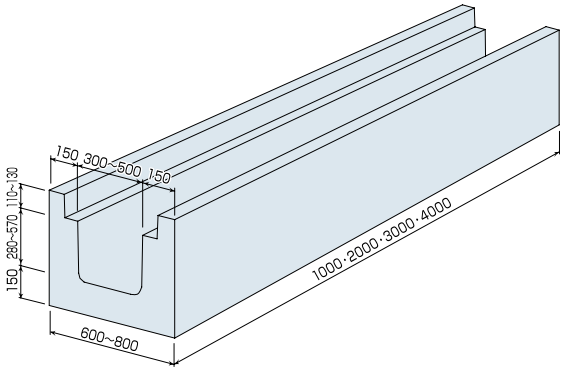


●荷重のかからない場所に使用します。
●土圧を求める際の土の単位体積重量は、締め固めた路盤材料であるため、20kN/㎥(2.0tf/㎥)としています。

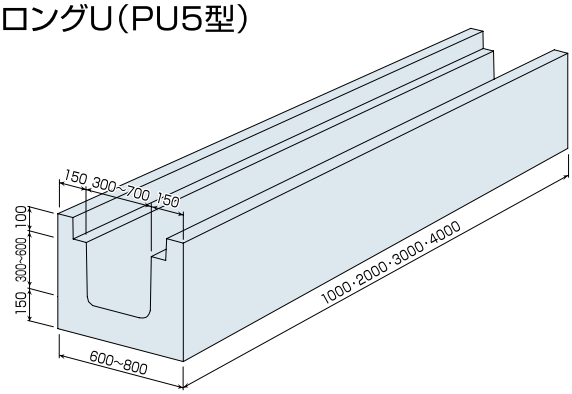
●ロングU(PU1型)/T-25対応



●ロングU(PU2型)/T-25対応

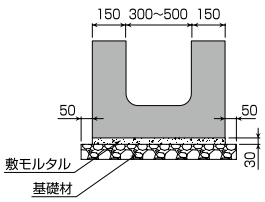


●ロングU(PU5型)

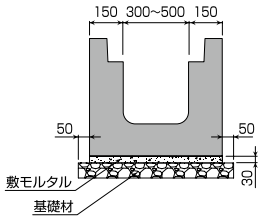


参考施工断面図 単位㎜

PU1型



PU2型



※詳細資料(ロングU協会単品カタログ)をご用意しております。
お気軽にお問合せください。

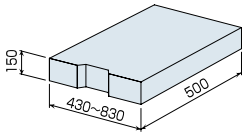
一般コンクリート製品

ロングU/エプロン

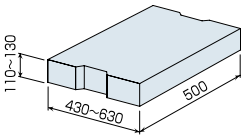
T-25対応　グレーチング蓋　コンクリート蓋

●ロングU蓋

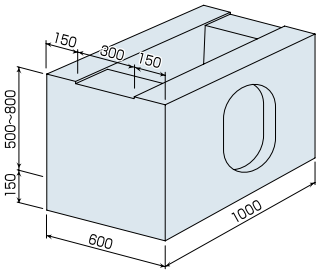
NC1系

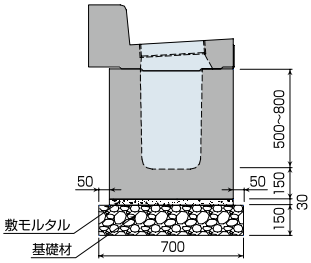


NC2系

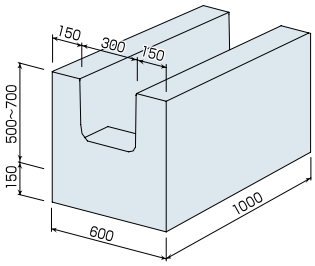


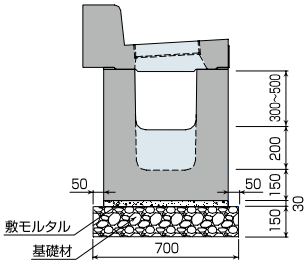
●街渠桝PGM系 T-25対応(ロングUと接続しない桝)



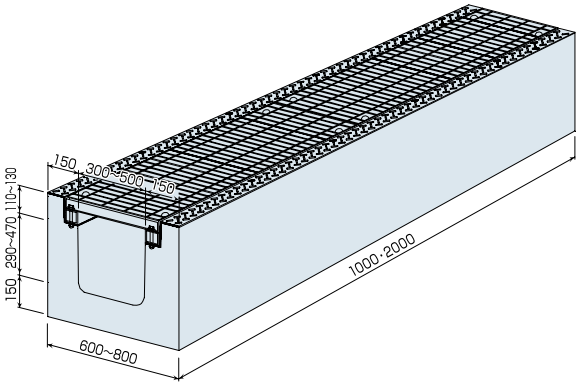


●街渠桝PGM系 T-25対応(ロングUと接続する桝)

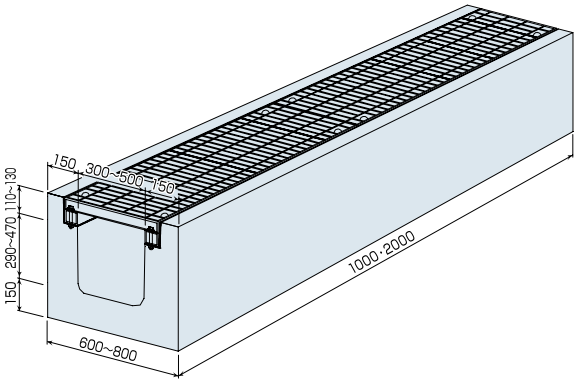




●ロングU 横断PU2·4系/Zアングル



●ロングU 横断PU2·4系/Lアングル



■設計上のおねがい

①過載荷重を受ける荷重条件は、一般車両(T-25,q=10kN/㎡)です。なお、側溝の構造は左右対称にしていることから、片側にしか輪荷重を受けない場合でも、両側とも車両の影響を受けるものと仮定し、PU1型またはPU2型を使用してください。

②道路を横断する場所には、ロングU蓋(コンクリート製)を使用しないでください。

③ロングUを路側に設け蓋付きとする場合で、道路の横断勾配が急な場合、ロングU蓋(コンクリート製)の排水孔(手掛り)では小さ過ぎることが考えられるので、このような場合は、鋼製蓋(グレーチング)と併用し、排水が十分に行えるように十分配慮してください。

④L=1mの製品を使用する場合及び横ズレの危険性のある箇所には、横ズレ防止のため、受台を使用してください。

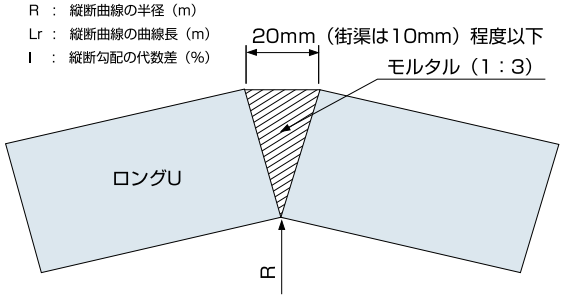
⑤曲線部に施工する際は、右表を参考に製品長を使い分けて下さい。

曲線部製品使い分け基準

平面曲線 / 縦断曲線	~50m未満	50~70m未満	70~120m未満	120m以上
~50m未満	現場打ち	→	→	→
50~70m未満	↓	1m	→	→
70~120m未満	↓	↓	2m	→
120m以上	↓	↓	↓	標準長

注1) 曲線半径は、道路中心線ではなく、側溝施工地点を適用するものとしています。
2) 目地間隔は、直線部において付合せとし、曲線部においては、最大値を20mmとして下さい。
3) 縦断曲線の半径

R=100Lr/I
R : 縦断曲線の半径(m)
Lr : 縦断曲線の曲線長(m)
I : 縦断勾配の代数差(%)



一般コンクリート製品

ロングU/エプロン

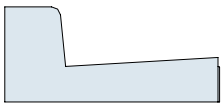
T-25 T-25対応　グレーチング蓋　コンクリート蓋

特　　徴

国土交通省近畿地方整備局「コンクリート二次製品市場製品図集」及び兵庫県「小型構造物標準図集」に準拠

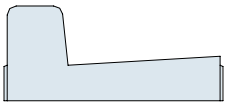
エプロンは、ロングUの上にのせて使用するタイプと路面に直接設置するタイプがあります。

〈PG型〉



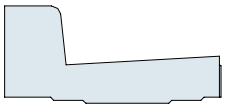
●路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部はマウンドアップ型

〈PGF型〉



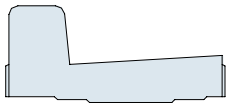
●路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部はセミフラット型

〈PGU型〉



●ロングUの上にのせて使用するプレキャスト街渠で歩道部はマウンドアップ型

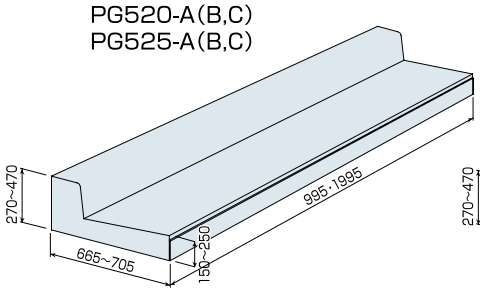
〈PGUF型〉



●ロングUの上にのせて使用するプレキャスト街渠で歩道部はセミフラット型

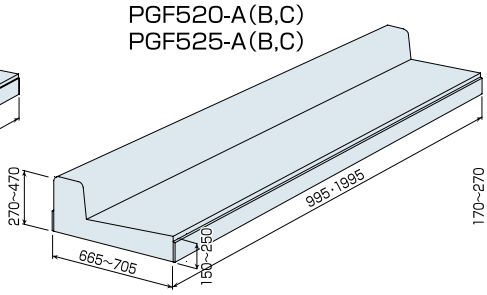
●エプロン(PG型)

基本　PG515-A(B,C)
PG520-A(B,C)
PG525-A(B,C)



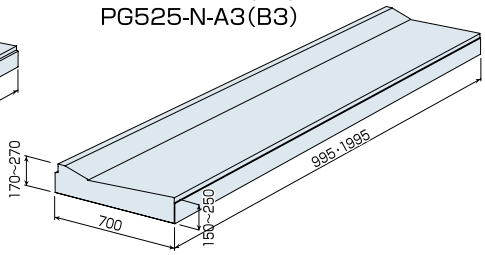
●エプロン(PGF型)

基本　PGF515-A(B,C)
PGF520-A(B,C)
PGF525-A(B,C)



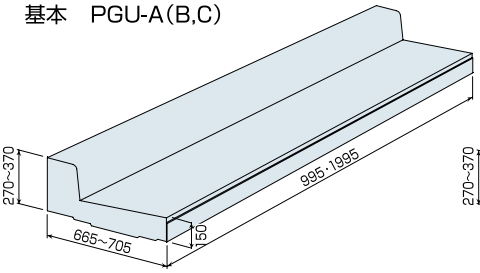
●エプロン(PG·PGF型)

基本　PG515-N-A3(B3)
PG520-N-A3(B3)
PG525-N-A3(B3)



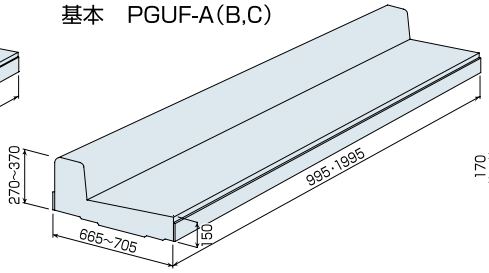
●エプロン(PGU型)

基本　PGU-A(B,C)



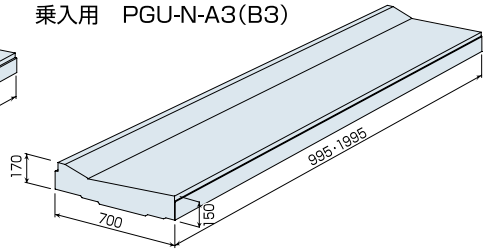
●エプロン(PGUF型)

基本　PGUF-A(B,C)



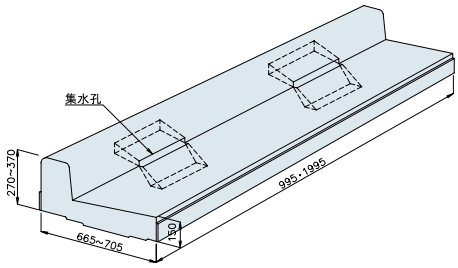
●エプロン(PGU·PGUF型)

乗入用　PGU-N-A3(B3)



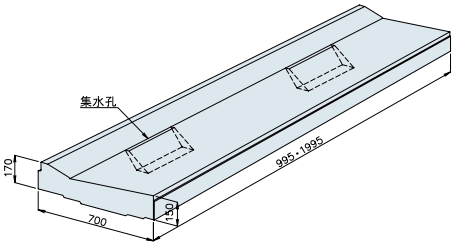
●レインキャッチ エプロン (Rc-PGUF 型)

基本　Rc-PGUF-A



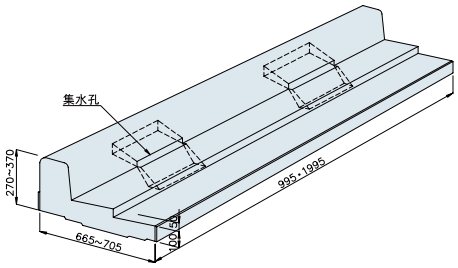
●レインキャッチ エプロン (Rc-PGU 型)

乗入用　Rc-PGUF-N-B3



●レインキャッチ Ⅱ エプロン (RcⅡ-PGUF 型)

基本　RcⅡ-PGUF-A



※詳細資料(ロングU協会単品カタログ)をご用意しております。
お気軽にお問合せください。

一般コンクリート製品

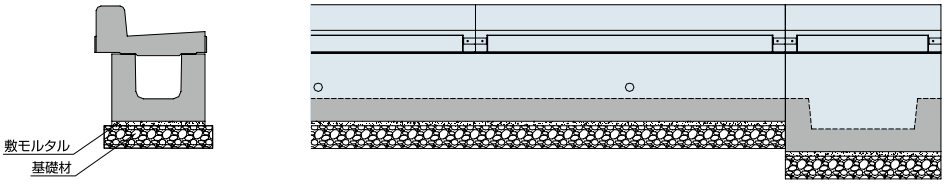
ロングU/エプロン

T-25対応　グレーチング蓋　コンクリート蓋

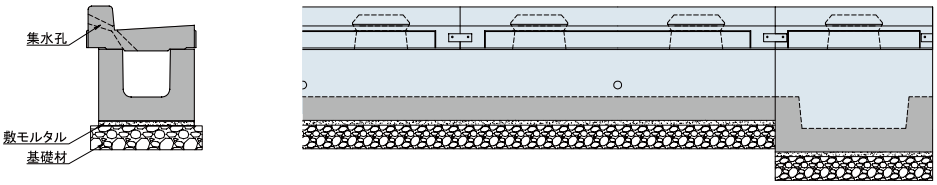
参考施工断面図 単位㎜

●標準施工図

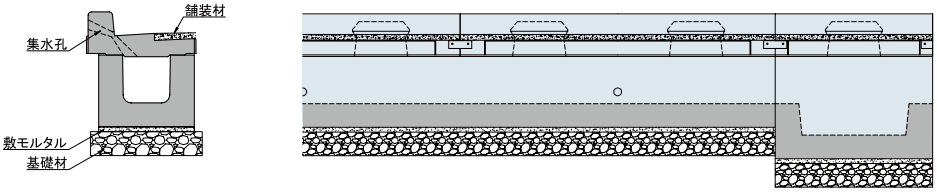
PGU･PGUF型



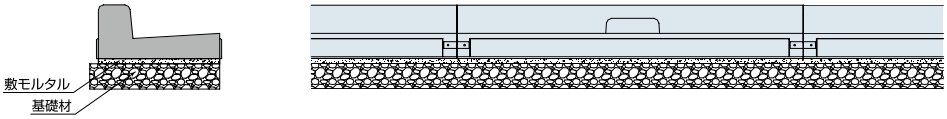
Rc-PGUF 型



RcII-PGUF 型

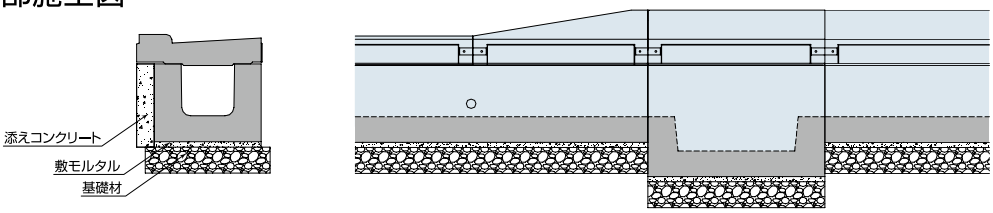


PG･PGF型

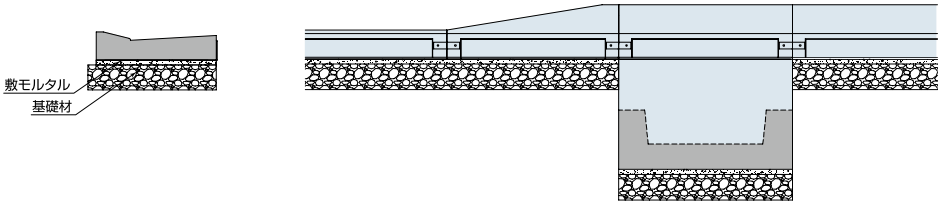


●自動車乗入部施工図

PGU･PGUF型



PG･PGF型



■設計上のおねがい

交通量の区分		大型車交通量（単位:台/日･一方向）	エプロン厚（mm）
※1呼名(1)	※2呼名(2)		
N1	L交通	15未満	150
N2		15以上、40未満	
N3		40以上、100未満	
N4	A交通	100以上、250未満	
N5	B交通	250以上、1,000未満	
N6	C交通	1,000以上、3,000未満	200
N7	D交通	3,000以上	250

種類	用　途
PGU	U型側溝の上にのせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型
PGUF	U型側溝の上にのせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がフラット型
PG	路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型
PGF	路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がフラット型

①エプロンの設計においては、一般車両(T-25)を考慮しています。
②街渠のエプロン厚は左表を参考にして、交通量により使い分けるものとします。なお、側溝付き街渠のエプロン厚は、交通量に関係なく150㎜とします。

※1　舗装設計施工指数
(平成18年度版(社)日本道路教会)
※2　舗装の構造に関する技術基準･同解説
(平成13年7月(社)日本道路教会)

③側溝の種類は用途によってPGU,PGUF,PG,PGFの4種に区分します。
④街渠及び側溝付き街渠はセミフラット型歩道を基準とします。ただし、バス停留所はマウンドアップ型歩道を原則とします。
⑤街渠及び側溝付き街渠の乗入れ部はテーパー付き乗入用を標準とします。
⑥街渠桝(集水桝)の設置間隔は、表「街渠桝設置間隔」を基準としますが、周囲の状況により安全側に位置をずらす事は差し支えありません。
⑦原則として乗入箇所には街渠桝(集水桝)を設置しません。
⑧目地間隔は、直線部においては5㎜を標準として、曲線部においては最大値を10㎜としてください。